

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

#### 製品情報

製品名 明治ファインセーブフロアブル

#### 会社情報

会社名 Meiji Seika ファルマ株式会社  
担当部署 生物産業プロジェクト推進部  
住所 〒104-8002 東京都中央区京橋二丁目4番16号  
電話番号 03-3273-3433  
Fax 番号 03-3271-1460  
緊急時連絡電話番号 中毒110番  
(休日、夜間など) <一般市民専用無料電話>  
大阪中毒110番(365日24時間対応)  
072-727-2499 (情報提供料:無料)  
つくば中毒110番(365日9時~21時対応)  
029-852-9999 (情報提供料:無料)  
<医療機関専用有料電話>  
大阪中毒110番(365日24時間対応)  
072-726-9923 (1件につき2,000円)  
つくば中毒110番(365日9時~21時対応)  
029-851-9999 (1件につき2,000円)  
医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、  
情報料1件につき2,000円が徴収されます。

#### 推奨用途及び使用上の制限

農薬登録範囲外の使用は不可。(農業用殺虫剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分5
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)
水生環境有害性(長期間)		区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語  
 危険有害性情報

警告  
 飲み込むと有害  
 吸入すると有害のおそれ  
 水生生物に非常に強い毒性  
 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく口／手を洗うこと。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合

気分が悪い時は医師に連絡すること。  
 口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

吸入した場合

気分が悪い時は医師に連絡すること

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

漏出した場合

漏出物を回収すること。

【廃棄】

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

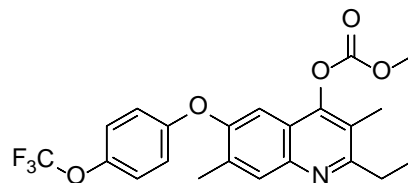
有効成分の化学名又は一般名

一般名

フロメトキン (Flometoquin)

化学名および構造式

2-エチル-3,7-ジメチル-6-[4-(トリフルオロメトキシ)フェノキシ]-4-キノリル=メチル=カルボナート  
 $C_{22}H_{20}F_3NO_5$  (分子量: 435.39)



化学名又は一般名	含有量(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
フロメトキン	10	875775-74-9	-	8-(1)-3685
その他	90	営業秘密につき非公開		

危険有害成分

フロメトキン (劇物)

#### 4. 応急措置

##### ばく露経路による応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 多量の水でうがいし、気分が悪いときは医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水および石鹸でよく洗い流す。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断/手当てを受ける。
眼に入った場合	汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。 清浄な水で15分間以上注意深く洗眼する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。 吐き出させる。 直ぐに医師の診断を受ける。

##### 応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋等、保護具を着用する。

##### 医師に対する特別な注意事項

特別な解毒剤は知られていない。  
症候に基づく標準的対応をする。

#### 5. 火災時の措置

##### 適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、アルコフォーム、霧状水

##### 使ってはならない消火剤

冷却の目的で霧状水を用いても良いが、消火に棒状水を用いてはならない。

##### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

##### 特有の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行う。  
火災発生場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し、冷却する。  
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう、適切な措置を行う。

##### 消火を行う者の保護

消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。

消火作業の際は、状況に応じて適切な保護具(消火服、保護眼鏡、手袋、ゴム長靴、自給式呼吸器等)を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

---

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

風上から作業し、風下の人を避難させる。

作業者は状況に応じて適切な保護具を着用し、当該物の直接接触を避ける。

### 環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出したものは砂、土、その他の吸収材料を使用して流出を阻止し密閉できる容器に回収する。

### 二次災害の防止策

おが屑のような可燃物は使用しない。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

#### 技術的対策

取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らないようにする。保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用する。

#### 局所排気、全体換気等

取り扱う場合には、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で行う。

### 保管

#### 安全な保管条件

子供の手の届かない場所に保管する。

施錠できる場所に容器を密閉して保管する。

冷暗所に保管する。

食品や飼料と同じところに保管しない。

火気、熱源より遠ざける。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

---

### 管理濃度

設定されていない

### 許容濃度

設定されていない

## 設備対策

できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。

## 適切な保護具

呼吸用保護具	防毒マスク、送気マスク、自給式呼吸器
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
	保護面（防災面）
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴、保護前掛け、長袖作業着

---

## 9. 物理的及び化学的性質

---

### 物理的及び化学的性質の基本情報

外観（物理化学的状態、形状、色など）	類白色液体
臭い	特になし
pH	5~8
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	該当せず
燃焼性	データなし
燃焼又は爆発範囲の下限・上限	データなし
比重	1.0~1.1 (20°C)
溶解度	水に不溶。均一に分散する。
その他のデータ	データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

---

### 化学的安定性

通常の手扱い条件では安定である。

### 避けるべき条件

光にあたると分解。  
塩基性物質、酸性物質により加水分解を受ける。

### 危険有害な分解生成物

特に知られていない。

## 11. 有害性情報

### 製品の毒性情報

急性経口毒性	ラット LD <sub>50</sub> 雌	300 < LD <sub>50</sub> ≤ 2,000 mg/kg	(区分 4)
急性経皮毒性	ラット LD <sub>50</sub>	雌雄 > 2,000 mg/kg	(区分外)
急性吸入毒性	ラット LC <sub>50</sub>	雌雄 > 5.618 mg/L	(区分 5)
皮膚腐食性・刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、刺激性変化が認められなかったため区分外とした。		
眼の重篤な損傷・刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験において、結膜に極軽度の刺激性変化が認められたが、24 時間までにすべて消失したことから区分外とした。		
呼吸器感受性	各成分とも情報がないため分類できないとした。		
皮膚感受性	モルモットを用いた皮膚感受性試験(Buehler 法)において、投与量 100%で惹起開始 24 時間後及び 48 時間後に陽性反応が認められなかったため、区分外とした。		
変異原性 (フロメトキン原体)	復帰突然変異( <i>S. typhimurium</i> )、染色体異常及び小核誘発性：陰性 本製品中の対象成分が区分外であるため、区分外とした。		
発がん性 (フロメトキン原体)	本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。		
生殖毒性 (フロメトキン原体)	本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。		
吸引性呼吸器有害性	各成分とも情報がないため分類できないとした。		

## 12. 環境影響情報

### 製品の環境影響情報

急性生態毒性	魚類 (コイ)	急性 LC <sub>50</sub>	520 mg/L(96 時間)
	オオミジンコ	急性遊泳阻害 EC <sub>50</sub>	0.0015 mg/L(48 時間)
	藻類	生長阻害 ErC <sub>50</sub>	720 mg/L(0~72 時間)
		生長阻害 NOECr <sub>50</sub>	98 mg/L(0~72 時間)
水生環境急性有害性	甲殻類に対する急性影響に基づき、区分 1 とした。		
残留性・分解性	光により急速に分解。		
生体蓄積性	濃縮倍率 1.6~5.4 (フロメトキン原体)		
水生環境慢性有害性	環境中における本製品の主要成分の消失が極めて速く、生体蓄積性も小さいと考えられるため、区分 2 とした。		

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

毒物及び劇物取締法に関する基準に従うこと。  
内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。  
下水道、地面、いかなる水域にも投棄してはならない。

### 汚染容器及び包装

容器を 3 回洗浄する。その際、環境や水の汚染を避けること。  
空容器を再利用してはならない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	3082
品名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	3082
品名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III
海洋汚染物質	該当する

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	3082
品名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III

### 国内規制

陸上規制情報	毒物及び劇物取締法（劇物） 道路法の規定に従った容器・包装・表示、積載・輸送方法により輸送する。
海上規制情報	危険物船舶運送および貯蔵規則(危規則)第 3 条危険物告示別表第 1 有害性物質 船舶安全法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。
航空規制情報	施行規則第 194 条危険物告示別表第 1 その他の有害物件(S 一等級 3) 航空法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

## 特別の安全対策

容器の破損、漏れがないことを確かめること。  
荷くずれ防止を確実に行うこと。  
該当法規にしたがって、包装、輸送、表示、輸送を行う。

---

## 15. 適用法令

### 本製品に適用される法規制

農薬取締法	適用(農林水産省登録第24069号)
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	劇物
労働安全衛生法	8-(1)-3685
PRTR法	非該当
道路法	施行令第19条の13 (通行制限物質) 劇物

---

## 16. その他の情報

引用文献	社内データ 国際連合 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) (改訂4版)
------	---

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。なお、注意事項等については通常の取り扱いを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。